

# 東白川村 美しい村づくり 委員会

## 第七回

- 場所：ふれあいサロン（神戸）
- 時期：平成 28 年 9 月 29 日 19：00～21：00
- 参加者：委員 7 名 ゲスト 4 名 行政 5 名

### 【「村めぐり」の計画について】

前回、企画として挙げた「村めぐり」について、まずは企画の目的を再確認するため事務局より先進地の事例として地元学を説明しました。

### ▼地元学とは…

自分たちが住む地域を足元から見つめ直して、地域おこしにつなげる取り組み。これは熊本県水俣市の吉本哲郎氏が提唱し、現在は地元学ネットワークを立ち上げ、国内はもとより海外でも実践されている。

「地域のことをみんなで知れば、新しい何かが見つかる」という意味合いのまちづくりの実践的手法。

- ・地域の“あるもの探し”をすることで地域内交流が生まれる
- ・まずは自分達が地域を知ろう！という気持ちが大切  
⇒地域の人達が“なにを大切にしてきたか”、“何を守ってきたのか”  
が分かる。

### ▼地元学を実践するうえでのポイント

- ・質問は具体的に聞く
- ・村外の人や子供など多様な目線
- ・自分たちの意見は取り入れない

→見たこと聞いたことをそのまま記録する

- ・記録したもののことの“見える化”を行う

#### ※質問例

- ・水はどこから引いていたのか、どこに流していたのか
- ・生活エネルギーについて
- ・地元の祭りや石碑について
- ・植物について
- ・農作物について など

⇒今と昔を聞くことが重要◎

地元学を参考にしながら、実際に集落あるきを行うにあたって、具体的な計画を話し合いました。

〈日時・場所〉

平成 28 年 10 月 16 日（日）、23 日（日）、30 日（日）

13：00～17：00

平地区、加舎尾地区、西洞地区

〈役割〉

- ・案内係：地域を知る人
- ・質問係：質問して引き出し、話の流れをつくる人
- ・記録係：聞いたこと、あるものを記録する人
- ・写真係：写真におさめる人

〈行程〉

2 時間ほど集落を歩く

- ・子供から大人まで多様な世代と一緒に歩けるとよい。
- ・集落の昔を知る方のお話を聞く。
- ・見たもの聞いたことを記録する

- ・ 集落あるきの様子の写真を撮る

〈見える化作業〉

- ・ 模造紙に聞いたこと見たことを書き起こす
- ・ 撮った写真も貼る
- ・ 地図にも落とし込んでいく

委員のみなさんの予定を確認しながら日程調整を行い、10月の集落あるきは以下の通り企画を実施することとなりました。

[第1回]

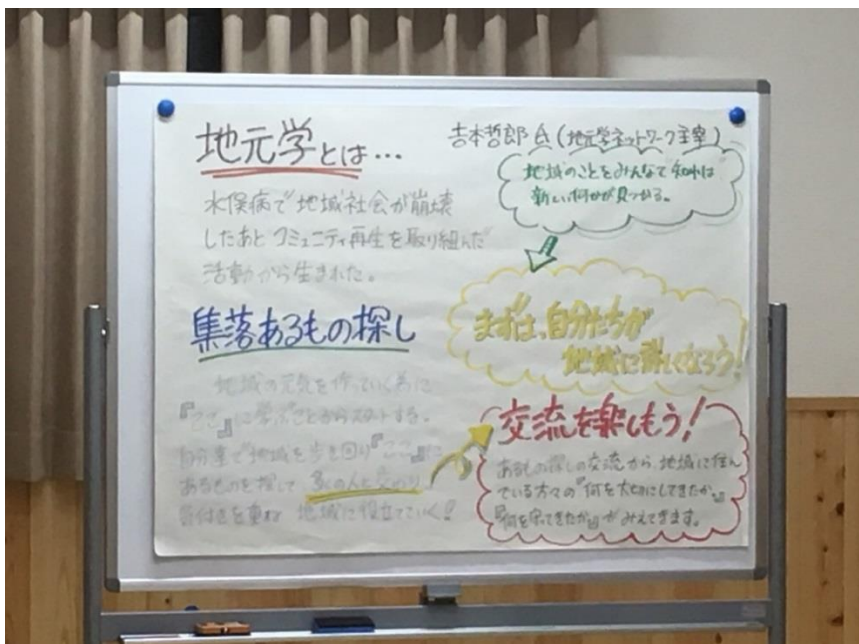
日 時：10月16日(日) 13:00~17:00頃  
 集 落：平地区  
 集合場所：ふれあいサロン

[第2回]

日 時：10月23日(日) 13:00~17:00頃  
 集 落：加舎尾地区  
 集合場所：ふれあいサロン

[第3回]

日 時：10月30日(日) 13:00~17:00頃  
 集 落：西洞地区  
 集合場所：ふれあいサロン





## <やりたいコト・実現したいコト>

### ・集落散策

- ・村外で働く東白川村出身者との意見交換会
- ・神道について学びたい
- ・昔をよく知る人達の堀り起こし
- ・「遊びを忘れた世代へ」を完成させ配布したい
- ・ちいさな祭りゴト
- ・新しい場づくり

### ・大地の再生講座

- ・住民も知らないスポット探し
- ・禊企画
- ・長い目で見た移住プロジェクト